



# 朝風

平成 25 年度  
9 月 号 ①  
大 仙 市 立  
大 曲 南 中 学 校

乾坤一筆

## 「集団行動から学ぶ」

校長 黒田 清 志

長かった夏休みもまたたく間に終わり、前期の後半が始まりました。8月26日は、さわやかで元気いっぱい、充実した笑顔の全校生徒と会うことが出来ました。91名中、一人の事故も問題もなかったことは、大曲南中学校の生徒としての責任と自覚があったからこそ大変うれしく思います。これから迎える前期後半は、農家にとっては収穫の秋、皆さんにしても収穫と充実の時です。どの生徒も目標をもって大いに頑張ってください。

さて、8月26（1年生）・28（3年生）・29（2年生）日と南外体育館に、「日本体育大学集団行動」の公開練習を見学に行きました。この集団行動は、火曜夜7時から放映されている「トリハダスクープ」で取り上げられ、一昨年度は女子集団行動としては空前のブームとなりました。今年度は、史上初の男女混合チームを編成し、一昨年度の倍となる80名による大集団での演技の予定だそうです。都内の生徒に比べると「本物を見る」「体験する」チャンスが少ない生徒たちにとっては、午前・午後3時間休むことなく歩き続け、仲間を信じ、助け合い、優しさがなければいい集団行動ができないことなど、学校生活にも通じる大切なことを経験できました。見学終了後には、全学年が指導者である清原伸彦（日体大名誉教授）先生から、「完成までの総歩行距離が500kmを超える」「集団行動をすることにより、自分を律する厳しさを身につけることにより、人への思いやり、優しさや目標に向かう団結力を養う」など励ましの言葉をいただきました。生徒たちにとって本物の集団行動を直に見学できたことは、「成功の裏には人一倍の努力がある」「ありがとう・ごめんね・あなたのおかげだよ」「心が揃っていることの美しさ」など、それぞれの心にしみた時間でした。

## 良い成績を残したいのなら

新人戦がもうすぐです。夏休みから頑張って練習に取り組んできた1・2年生に、そろそろ夏の疲れが出てこないかと少し心配しています。

8月18日付けの魁新聞朝刊に掲載されていた内館牧子さんのコラムの中に、興味深い話がありました。

- ・ 明治初期にドイツから東京にやってきたベルツ医師が日光に馬で行ったところ、途中で馬を6回取替えて14時間かかった。
- ・ 2度目は、人力車で行くとな人の車夫で14時間半。驚いたベルツが車夫の食事をチェックしたところ、ただの麦飯や煮物など「家庭の和食」
- ・ ベルツは、もっと栄養を取らせたら速く走れる！と考えて、肉などの高カロリーの食事を与えた。
- ・ そしたら車夫は3日で走れなくなったので、元の食事に戻すとまた走れた。

小さい頃から高カロリー、高脂肪の食事に慣れている今の子どもたちにはもの足りないかもしれない日本の家庭料理が、今見直されています。実は体調管理に効果的なものかもしれません。

## 9月の行事予定

- 3 学校安全日 思春期心の健康講座
- 5 3年実力テスト 2年エコクッキング
- 6 数学基礎テスト いじめ撲滅集会
- 7 県卓球選手権大会 西仙北中招待野球大会
- 8 県卓球選手権大会 岩谷杯剣道大会
- 9 生徒研修会（大槌町）
- 10 英語暗唱弁論大会
- 12 「南中祭」決起集会
- 14 郡市新人総体（～15）秋季野球角館大会（～16）
- 17 テスト前部活動休止期間（～19）
- 18 職員会議
- 19 2年生出前授業
- 25 3年「秋田県がん教育」出前授業
- 26 2年生郷土料理作り
- 28 南の子ども音楽会
- 29 体文主催南中招待剣道大会



